

カ	ラ	―	■横浜やすらぎの郷霊園開園並管理棟落慶式典……………	1
特	集	●	横浜やすらぎの郷霊園開園並に管理棟落慶式を挙行 お祝いの言葉……………	12
リ	ポ	ー	ト ●霊園開園式・管理棟落慶式に出席して……………	15
特	別	読	物 ●人生の指針 修証義・発願利生の教え……………	22
提	唱	●	儀式について……………	41
連	載	●	くらしの中で読む『正法眼蔵』面授の巻・その六……………	49
カ	ラ	―	■横浜善光寺留学僧 具足戒授与式……………	57
特	集	●	タイの上座部仏教について―ウパサンパダーの儀式に随喜して……………	65
	●	仏	のころ―得度式と戒律……………	69
弔	辞	●	小谷亀太郎氏逝去……………	106
カ	ラ	―	■仏教への厚い信仰に生きて タイの仏教文化を訪ねて……………	113
旅	行	記	●チベット紀行……………	117
寄	稿	●	『正法眼蔵』における頭陀説再考……………	127
カ	ラ	―	■伊藤三喜庵先生による想い出の成寿表紙 創刊号から30号まで……………	136

読者のたよりの
142

題字・イラスト 伊藤三喜庵

巻頭言

黒田 武志

(善光寺住職)

善光寺が長年念願としておりました霊園『横浜やすらぎの郷』が無事完成し、去る六月五日、関係者をお招きし、開園式並びに管理棟落慶式をとり行いました。国籍、宗教、宗旨、宗派をとわない霊園として、横浜市旭区の自然に抱かれた丘陵地の一画、西方に富士山を望め、お天気の良い日は、えもいわれぬほどに佳境なる眺望がいただけます。霊園内は、高齢者、身障者の方々に優しい簡易のリフトも装備いたしました。皆さま方にも是非一度お参りいただけたら光栄であります。関係者の方々の御尽力に、厚くお礼を申し上げます。

さて、会者定離と申しますが、残念な報告です。善光寺育英会発足以来、海外の顧問として、私も公私共に三十五年間お世話になりました小谷亀太郎会長さまが七月十三日、タイ国バンコクで、八十五歳の生涯をとじられました。

會長さまは、仏道への堅固な菩提心と人種、民族の枠を越えた弘法救生の慈悲のお方でありました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

十一月中旬には、中国寧波の天童禪寺（宗祖道元禪師が修行なされ、真実の仏法を体得されたお寺）開創一七〇〇周年の式典に、修祥監院老師から随喜の招待をいただきましたので、檀信徒の方々と参列を予定いたしております。

さてミレニアム、二十一世紀の足音が近づいてまいりました。いま世界は仏教への関心を高めています。仏教の真理こそは、宇宙自然の理に合致しているといふことです。仏教こそ真の宗教だと世界中が再認識しております。これも急激に起って来た地球と自然環境破壊の脅威が叫ばれ、仏教のところにその救済が求められているからです。いまこそ、仏教国日本は、アジアの隣人と共通の認識に立ち、魅力ある共同体作りを進める必要に迫られています。大乘、上座の仏法が一つとなり、新しい世紀、次の世代に明るい展望と、やすらかなる「生」を得るために、益々日本とアジアの交流を密にして、いよいよ平和と繁栄のため至誠を尽くし尚更に精進することを心にちかっております。